

松波中学校 の取り組み

9月21日@地場産

能登町立松波中学校

- ・ 1年17名 2年29名 3年20名
が在籍しています。
- ・ 教員は10名の小規模な学校です。



本校の現状（４月）

＋（強み）

- ・ 昨年度から継続して実践している教員がいる。
- ・ ICT機器の活用に意欲的な教員が多い。
- ・ タブレット端末を活用することで、生徒は意欲的に授業に取り組んでいる。
- ・ 基本的PC操作が身に付いている生徒が多い。

－（弱み）

- ・ 教員間での活用頻度の差が大きい。
- ・ どのようにタブレットを活用するとよいか具体的なイメージを持ってない教員がいる。

校内研修のアイデア

- (1) G I G A 研修・若プロ
- (2) 研究授業＋実践例

月	研修テーマ [研修形態]	担当	関連する行事等
4月	[個人研1] ステージ1 必須動画視聴 [個人研2] ステージ2 必須動画視聴 [若プロ1] GIGAスクール構想とは なぜ、今ICT活用なのか	推進リーダー 〃 若プロ担当	第1回GIGA校内 推進リーダー研 修
5月	[校内研1] 研究授業 [GIGA研1] タブレットの操作方法・活用法について② リーダー研修の還流① [GIGA研2] 苦手意識を持つ職員への対応	研究主任 推進リーダー 〃 〃	
6月	[校内研2] 研究授業・公開授業 [個人研3] ステージ3 動画視聴 [GIGA研3] 実践事例の共有①	研究主任 推進リーダー 〃	
7月	[校内研3] 研究授業 [GIGA研4] GIGA出前サポートの活用① [個人研4] 実践報告書作り	推進リーダー 〃 〃	

中間目標

「（教員・生徒の双方が）
活用し、操作に慣れる。」

- 授業の中でスライドやJamboard、スプレッドシート、form等を積極的に活用する。
- クラブルームや共有フォルダ機能を活用し、生徒会活動など授業以外においても用いる場面を作る。

(I) G I G A 研修 ・ 若プロ 4 月 1 4 日

手順

生徒の提出物

G I G A 研修 苦手意識を持つ職員 の対応

自 校内研修③

樋本光 ・ 4月14日 (最終編集: 17:51)

100 点

期限: 4月15日 23:59



Blank Quiz
Google フォーム

🗨️ クラスのコメント



クラスコメントを追加...



新しく赴任した教員・苦手意識のある教員を対象にクラスルーム・ジャムボード・フォーム等の基本的な操作の確認を行った。

(I) G I G A 研修・若プロ 5月19日

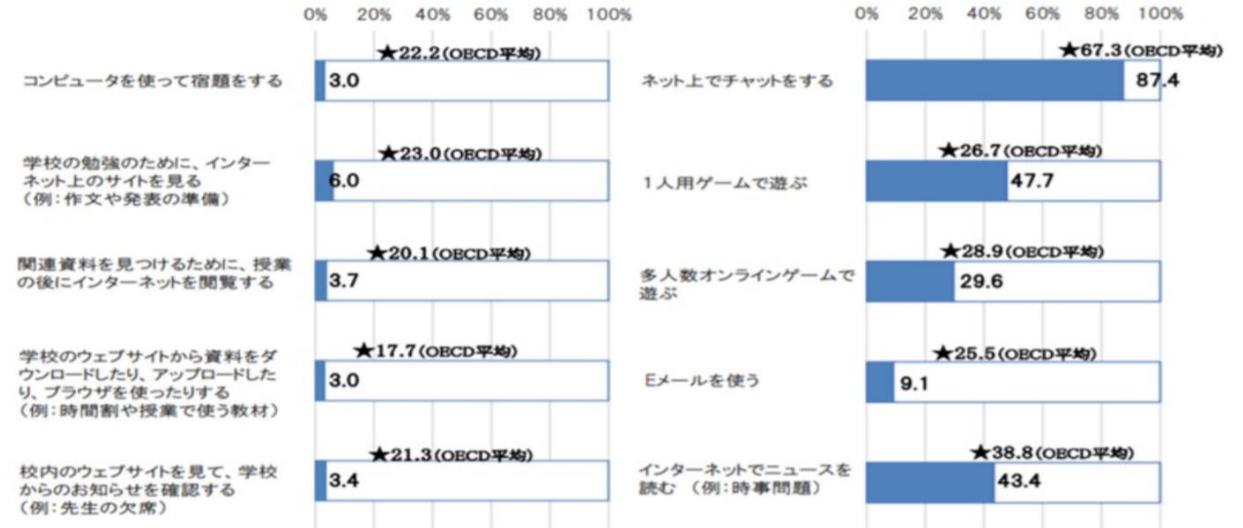
若プロ なぜ、GIGAスクール 構想が必要なのか？

GIGAスクール構想が発表された背景

- ・2018年に、OECD加盟国の15歳の生徒たちが受ける世界規模での学力調査であるPISA(OECD生徒の学習到達度調査)で、日本の子供たちの「」が低下している事が大きなニュースとなった。
- ・読解力が低下した要因として、「**文章の質と信ぴょう性を評価する**」「**文章の矛盾を見つけて対処する**」能力が上手く育まれていないという結果が、調査を通して分かった。

→日本の子供たちの能力が低い？

● 学校外での平日のデジタル機器の利用状況 (青色帯は日本の、★はOECD平均の「毎日」「ほぼ毎日」の合計)



学びへの活用 ICTの「学び」への活用

“すぐにでも” “どの教科でも” “誰でも” 使える ICT

検索サイトを活用した調べ学習

- 一人一人が情報を検索し、収集・整理
- 子供たちが各自が検索した情報にアクセスし、主体的に情報を選択する

文章作成ソフト、プレゼンソフトの利用

- 子供たちが一人一人が考えをまとめて発表
- 共有編集で、リアルタイムで考えを共有しながら学び合い

一人一人の学習状況に応じた個別学習

- デジタル教材を活用し、一人一人の学習進捗状況が可視化
- 様々な特徴を持った生徒によりきめ細やかな対応を行う

一人一人の学習状況に応じた個別学習

- デジタル教材を活用し、一人一人の学習進捗状況が可視化
- 様々な特徴を持った生徒によりきめ細やかな対応を行う

“1人1台”を活用して、教科の学びを深める。教科の学びの本質に迫る。

国語

書く過程を記録し、よりよい文章作成に役立てる

- 文章作成ソフトで文章を書き、コメント機能等を用いて助言しあう
- 文章作成ソフトの校閲機能を用いて推敲し、データを共有する

算数・数学

関数や図形などの変化の様子を可視化して、繰り返し試行錯誤する

- 画面上に表示した二次関数のグラフについて、式の値を変化させて動かしながら、二次関数の特徴を考察する
- 正多角形の基本的な性質をもとに、プログラミングを通して正多角形の作図を行う

外国語

海外とつながる「本物のコミュニケーション」により、発信力を高める

- 一人一人が海外の子供とつながり、英語で交流・議論を行う
- ライティングの自動添削機能やスピーキングの音声認識機能を使い、アウトプットの質と量を大幅に高める

社会

国内外のデータを加工して可視化したり、地図情報に統合したりして、深く分析する

- 自分で収集したデータや地図を重ね合わせ、情報を読み取る
- 分析した情報を、プレゼンソフトで、わかりやすく加工して発表

理科

観察、実験を行い、動画等を使ってより深く分析・考察する

- 観察、実験を動画等で記録することで、観察を科学的に分析し、考察する
- 観察、実験のレポートやプレゼンテーションソフトなどを使い、写真やグラフを挿入するなどして、一人一人が主体的に作成する

(国上交通省HPより引用)

(I) G I G A 研修・若プロ 5月24日

G I G A 研修 「google アプリの活用方法について」 「実践事例の共有」

グループワーク・対話的な学習におけるタブレットの活用方法

<パターン① google スライドを用いて 意見の共有・拡散>



<手順>

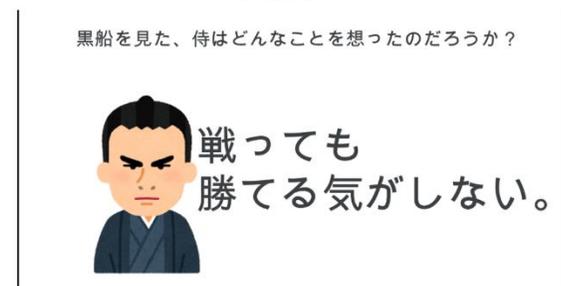
- ① Google スライドで下の資料の様に人数分の資料をコピーし、作成。
- ② クラスルームで課題を作成する際に、【生徒はファイルを編集可能】を選択し、課題を作成。

メリット 意見を即座に確認することができる。(作成段階から)

誰でも確認できるので、考えるヒントになり、支援に繋がる。

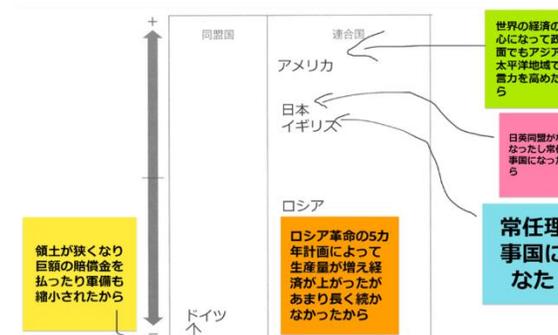
デメリット 誤ってシートを消してしまった時の修復が困難。(誰が消したか分からない。他校でも同様の事例あり。)

<パターン② jam boradを用いて 意見の共有・拡散>



<手順> (全員の意見が見える化する場合)

- ① 1つ作成した Jam borad を人数分コピーし、作成。(最大20枚まで)
- ② クラスルームで課題を作成する際に、【生徒はファイルを編集可能】を選択し、課題を作成。



メリット

- ・意見を即座に確認することができる。(作成段階から)
- ・誰でも確認できるので、支援に繋がる。
- ・付箋機能等を用いて意見の共有やまとめがしやすい。

デメリット

- ・シートが最大20枚しか作成できない。

実践事例を通して、授業での具体的な活用方法などを共有した。

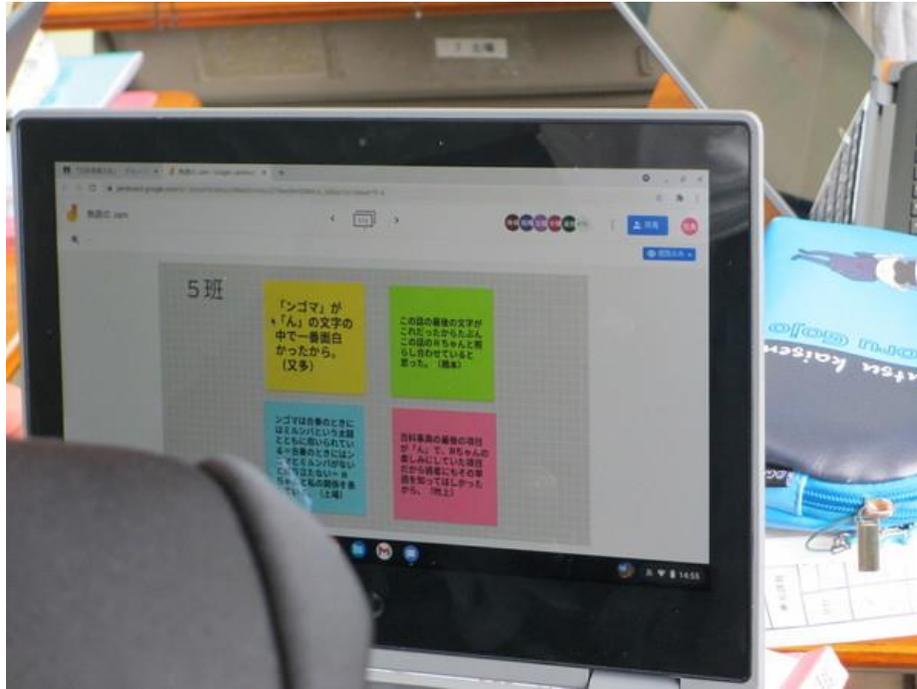
4月22日 学習集会



学習集会を開き、タブレットをどのように活用していくか、生徒と共有を図る。

(2) 研究授業【国語科】

5月20日



ジャムボードを用いて全員の意見を可視化。

(2) 研究授業【英語科】

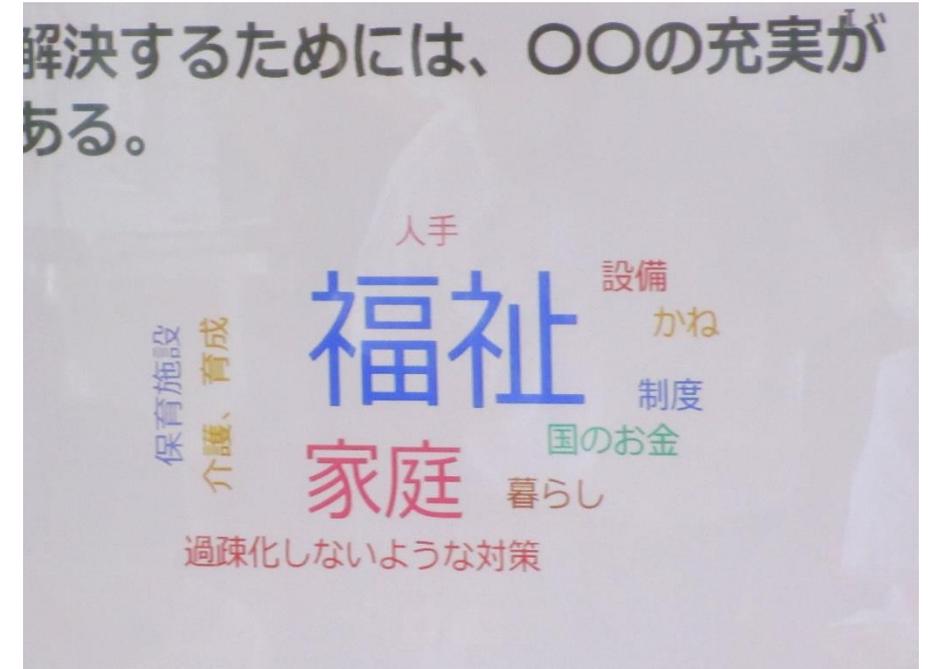
6月15日



ALTの先生との対話動画を用いて、対話活動の支援を行う。

(2) 研究授業【社会科】

G I G A 出前サポートの活用 7月14日



成果 今後の活用方法の方向性が得られた。

課題 発表の場での活用方法・生かし方△

改善策 全員の意見を可視化できるメリットを生かした問い返し・発問の精選

(2) 各教科の実践事例①



家庭科

プレゼンテーションソフト
を用いて調べ学習の発表



理科

カメラ機能を用いて植物
の観察に活用する。

(2) 各教科の実践事例②



数学
生徒端末上のデジタル教科書の活用。

保体
バレーボール
技のポイント説明

(2) 各教科の実践事例③

授業以外でも



3年総合
七尾高校と連携してオン
ライン発表会



給食中に、栄養教諭による
食育に関する講話をgoogle
meetで行う。

中間目標

**「（教員・生徒の双方が）
活用し、操作に慣れる。」**

- (i) 授業の中でスライドやJamboard、スプレッドシート、form等を積極的に活用する。
- (ii) クラブルームや共有フォルダ機能を活用し、生徒会活動など授業以外においても用いる場面を作る。

達成とした理由

- (i) 全教員が教科の特性に応じて、ICTの活用実践に取り組むことができた。
- (ii) 委員会活動やお昼の放送等授業 以外での積極的な活用が見られた。朝学習時のタイピング練習などを通じて、生徒の端末操作のスキルも向上がみられた。

中間目標

「（教員・生徒の双方が）
活用し、操作に慣れる。」

(i) 授業の中でスライドやLambord、スプレッド

(ii)

中間目標達成！！

生徒会活動など授業以外においても用いる場面を作る。

8月	[個人研5] 実践報告書作り [GIGA研5] 実践事例の共有②	推進リーダー //	
9月	[校内研4] 研究授業・公開授業 [GIGA研6] リーダー研修の還流②	研究主任 推進リーダー	第2回GIGA校内 推進リーダー研 修
10月	[校内研5] 研究授業 [GIGA研7] 実践事例の共有③	研究主任 推進リーダー	
11月	[校内研6] 研究授業 [GIGA研8] 実践事例の共有④	研究主任 推進リーダー	
12月	[校内研7] 研究授業 [GIGA研9] GIGA出前サポートの活用② [個人研6] 実践報告書作り	研究主任 推進リーダー	

中間 目標

- 「ICTを用いて適切に対話的な学びの支援を行う。」
- ・ 実践事例を共有しながら、対話的な学びの改善につなげる事ができる。
 - ・ Gsuiteアプリの機能を概ね使いこなしている。

8月 実践報告書作り

GIGA 実践報告書

氏名 西裕子

教科 家庭科

実施学年 2年

(実施したデータや生徒の様子)

12 作る責任 使う責任

10人中7人が小学校を卒業できない。
10人中5人が十分に食べることができない。
10人中6人が安全な水を得ることができない。

スライドを作ってみんなの前で発表している。



<授業を行ってみたいの振り返り (○成果 △課題 □改善点)>

○成果：

- ・本時では、SDG'S 中の特に食に関する事に絞って世界が取り組んでいる様々な課題を自分の調べたことや伝えたいことなどをスライドを使ってまとめ発表会を行った。画像やグラフなど必要に応じて工夫してまとめることができた。
- ・友達の考えたことなどから良かったことや「参考となったことなどをそれぞれ発表が終わるごと評価し合った。

GIGA 実践報告書

氏名 池田 茂雅

教科 理科

実施学年 1年

(実施したデータや生徒の様子)

1. 身の周りの生物の観察
→ 写真等を添付して観察レポートを作成
(ドキュメント、写真)

2. セキツイ動物の特徴のまとめ
→ みんなで表を完成させる。
(ドキュメント)

生物名	科
観察者	池田 茂雅
観察した日	4月 27日 (木) 天候 晴れ 場所 外 (校庭へん 相模原の森)
特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・緑色 ・緑い所に集結できる。 ・地面に張り付いている。 ・他にもセキジロクやギンゴクなどいろいろな種類がある。

セキツイ動物の特徴

動物名	科	特徴	観察した日	観察場所	観察者	観察時間
クマ	クマ科	クマ科の動物は、体毛が長く、力強い。また、鋭い爪と歯を持つ。主に山岳地帯に生息し、肉食性である。	4月27日	相模原の森	池田 茂雅	10:00-11:00
シカ	鹿科	鹿科の動物は、角を持つ。主に森林や山地に生息し、雑食性である。	4月27日	相模原の森	池田 茂雅	11:00-12:00
ウサギ	ウサギ科	ウサギ科の動物は、跳躍力がある。主に森林や草原に生息し、雑食性である。	4月27日	相模原の森	池田 茂雅	12:00-13:00
リス	リス科	リス科の動物は、尾が長い。主に森林に生息し、雑食性である。	4月27日	相模原の森	池田 茂雅	13:00-14:00
クマドリ	クマドリ科	クマドリ科の動物は、体毛が長く、力強い。主に山岳地帯に生息し、肉食性である。	4月27日	相模原の森	池田 茂雅	14:00-15:00
シカ	鹿科	鹿科の動物は、角を持つ。主に森林や山地に生息し、雑食性である。	4月27日	相模原の森	池田 茂雅	15:00-16:00
ウサギ	ウサギ科	ウサギ科の動物は、跳躍力がある。主に森林や草原に生息し、雑食性である。	4月27日	相模原の森	池田 茂雅	16:00-17:00
リス	リス科	リス科の動物は、尾が長い。主に森林に生息し、雑食性である。	4月27日	相模原の森	池田 茂雅	17:00-18:00
クマドリ	クマドリ科	クマドリ科の動物は、体毛が長く、力強い。主に山岳地帯に生息し、肉食性である。	4月27日	相模原の森	池田 茂雅	18:00-19:00

<授業を行ってみたいの振り返り (良かったところ・改善すべきところ・実践した際の問題点など)>

○良かったところ

- ・それぞれの生徒のレポートを全員で見ることができ、いろいろな意見が出る振り返りができた。
- ・写真を簡単に掲載できるため、より詳しくレポート作成ができた。

○改善すべきところ

- ・コメント入力して返すところまで行っていない。ドライブに蓄積して、単元等の振り返りに使えるようにする工夫が必要である。

○実践した際の問題点

- ・ゲーム感覚で使用している生徒がいるので、使用上のルールを徹底する必要がある。

夏休みを利用して・・・8月26日

Chromebook活用 トラブルシューティング

R2年度秋のChromebook導入期からこれまでの活用中に起きたトラブルの対処法をご説明いたします。

Chromebookの電源が入らない、または起動しない場合

・キャビネット内で充電ができていない場合

→キャビネット内の充電アダプターコンセント部の差し込みが緩んでいる、上手くUSBType-Cにさせていなかった場合がございます。他の場所で充電ができるかを確認します。余剰Chromebookのアダプターなどを使用し充電ができるか確認します。

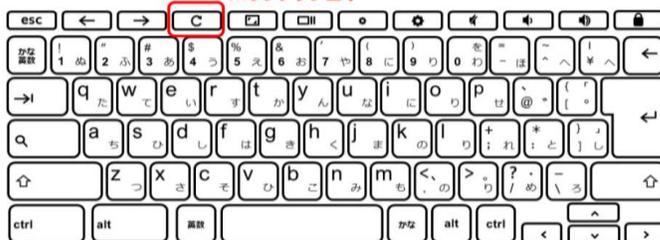
・Chromebookの左右側面にあるUSBType-Cから充電ができない（充電ランプが付かない）場合

→ハードリセットを試す。（初めは電源アダプターを接続していない状態で）

※[ダウンロード] フォルダのファイルは、一部削除される可場合があります。

- 1、電源を切った状態でキーボード上段の **C**（※リフレッシュキー）を押しながら電源を入れます。
- 2、Chromebookが起動したらリフレッシュキーを離す。
- 3、起動しない場合は、電源アダプターを接続した状態で上記 1、 2手順を再度行う。

※リフレッシュキー



端末のトラブルに対応するためにICT支援員さんを講師として、トラブルシューティングの研修を行いました。

リモート授業リハーサル・・9月9日



休校に備え、学校全体でリモート授業を体験

最終目標

教員

- ①全教員が、授業で日常的にタブレット端末を活用している。
- ②全教員が、タブレット端末を用いて、意見を集約したり、広げたりする対話的な学びを支援している。

生徒

- ①生徒がプレゼンテーションソフトなどを用いて、発表やプレゼンを行っている。
- ②生徒同士が互いにタブレット端末を用いて、自分の考えを伝えあい考えを深め合おうとしている。
- ③生徒が、家庭学習や休み時間などで端末を用いて自主的に学習をすすめるようとしている。

今後に向けて

- ・まだまだ取り組みに個人差がある。
- ・効果的な学びの支援としての活用方
 - 実践事例の共有の積み重ね
 - ICT活用指導力強化事業指定校の授業参観（宇出津小、能都中）
 - 研究と連携し、松中スタイルの授業に組み込んで、個人差の解消、効果的な学び（個別最適化）の活用方法を探る。